



<CAM ベトナム・特別レポート>

情報提供用資料

2019年8月5日

ベトナムの政治体制

集団指導体制による国家で、政治体制は安定し治安状況は良好

ベトナムは共産党が指導する社会主義共和国である。一党体制による国家権力の下で、国会、政府、人民裁判所・検察院がそれぞれ立法機関、国家行政の最高機関、審理・検察機関としての権限を分配する三権分業とされる国家体制をとっている。すなわち国家権力の三権が統一され、その中で分業を行うという原則に立っている。

国家の最高職位は、「四柱」といわれる党書記長、国家主席（大統領）、首相、国会議長で、4人の首脳による集団指導体制によって安定した政権運営になっている（2018年9月に前国家主席が急逝したことを受け、現在は書記長が国家主席を兼務）。

党書記長は党内序列が常に一位の最高指導者で、国家主席、首相、国会議長がこれに次ぐ。2011年1月、グエン・フー・チョン氏（Nguyen Phu Trong；1944年生まれ、北部ハノイ出身）が書記長に就任した（2016年1月再任）。

国家主席はベトナムの国家元首である。国内および対外的な代表で、国会により選出される。大統領の位置づけで儀礼的な役割も果たす。2018年10月からチョン書記長が国家主席を兼務している。

首相は政府の長である。内閣の運営責任者として、政府の活動や任務につき国会に対して責任を負う。現在は、グエン・スアン・フック氏（Nguyen Xuan Phuc；1954年生まれ、中部クアンナム省出身）が首相を務める。

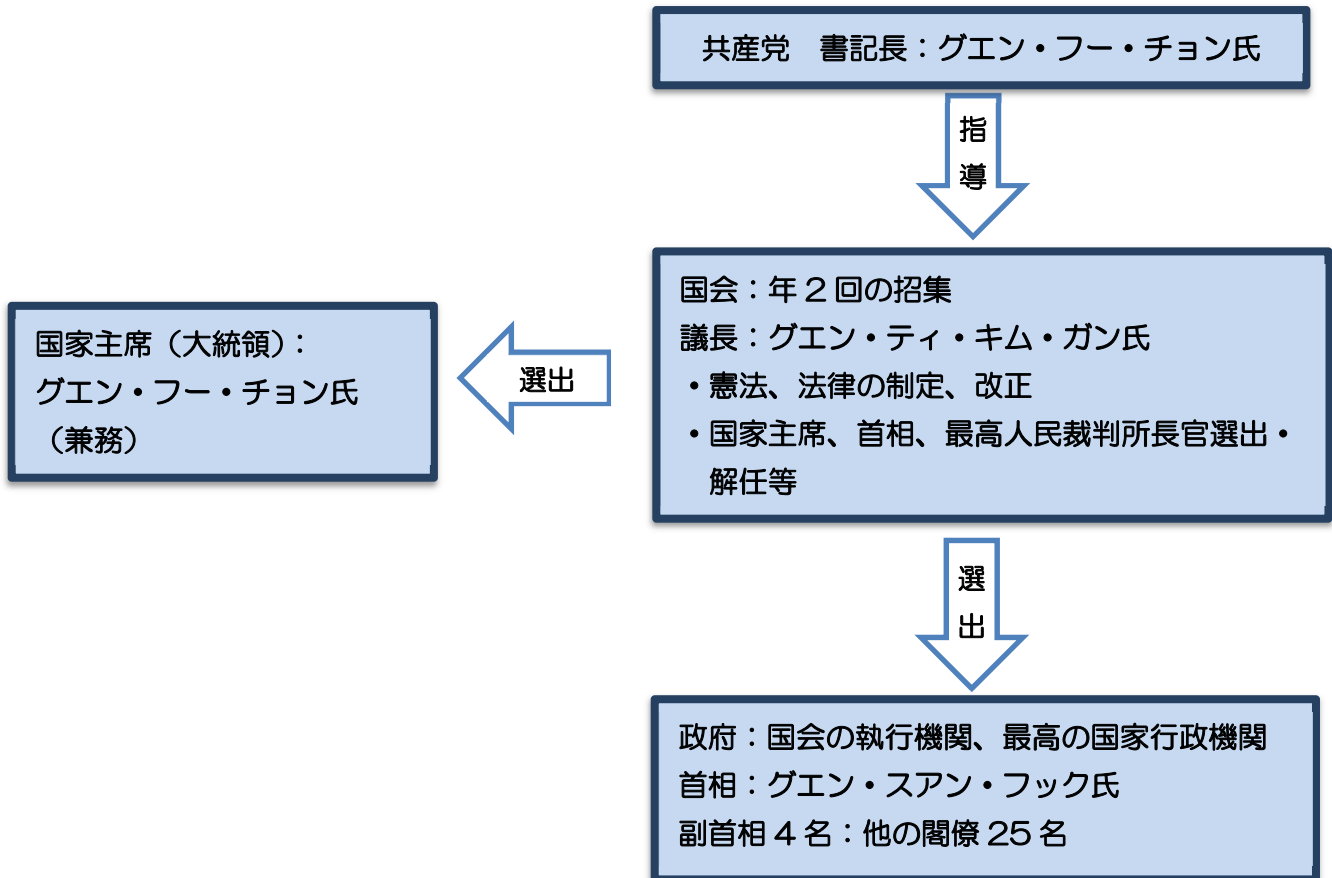
国会議長は、人民を代表する最高機関である国会の代表である。現在は、ベトナム初の女性国会議長となるグエン・ティ・キム・ガン氏（Nguyen Thi Kim Ngan；1954年生まれ、南部ベンチェ省出身）が担う。



中央政府の行政機構には、22 の省（省と同レベルの国家機関を含む）と 9 つの政府関係機関がある。中央政府は最高の行政機関として、政治、経済、文化、社会、国防、安全保障および対外関係業務を統一的に管理する。

地方行政に関し地方分権の制度は存在せず、地方における人民評議会および人民委員会は、中央政府の地方機関としての任務および権限を有する。地方行政単位は、省（第一級行政区）、県・市（第二級行政区）、町村（第三級行政区）の三層構造となっている。なお、ハノイやホーチミン市などの 5 都市は、中央直轄市として省と同格の行政区分である第一級行政区に属する。

【党、国会、政府、国家主席の関係図】



参考資料：ベトナム計画投資庁、本邦国会図書館、外務省、JETRO、自治体国際化協会、の各 HP/資料

以上